

三重県 水福連携におけるコーディネーター人材の育成・活動支援事業(令和4～6年度)

事業目的 水福連携の取組を通じて、障がい者の就労や生きがいづくりの場を創出するとともに、担い手不足等人材確保に悩む漁業現場における新たな労働力の確保に資することを目的とする。

事業の必要性

- これまでの水福連携では、水産業普及指導員が漁業者と福祉事業所等とのコーディネートを行い、漁労関連作業委託の創出に取り組むとともに、福祉事業所等への漁労関連作業の指導を担う人材として水産業ジョブトレーナーを養成してきた。
- 取組を県内全域に拡大していくためには、水産関係者と福祉事業所等のマッチングに専門的に取り組む人材の育成が必要。

取組拡大の余地がある水産加工業におけるマッチング拡大にも取り組みます



事業の内容

①水福連携コーディネーター育成事業(令和4年度)

育成研修(座学) 1回

講師: 農業等分野コーディネーター等
専門講師: 2名
水福連携に取り組む漁業者: 1名

水福連携の概要と課題、マッチングに向けたアプローチの手順に関する座学

育成研修(実地研修) 2回

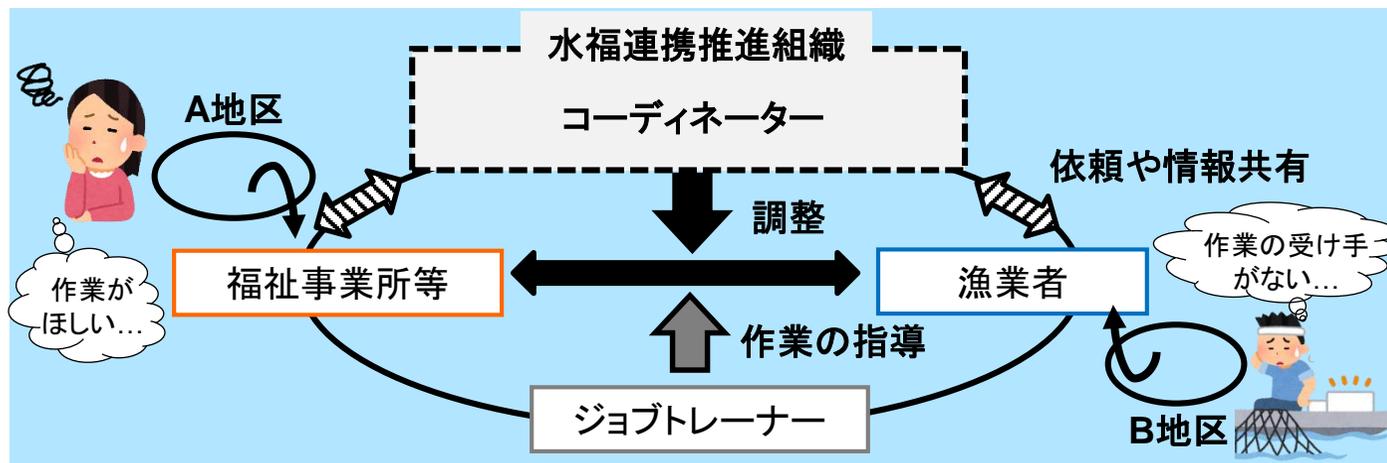
講師: 水福連携に取り組む漁業者: 2名

水福連携の委託作業への理解促進を目的とした実地研修

マッチング
活動開始

②水福連携コーディネーター活動支援事業(令和4～6年度)

水福連携コーディネーターによるマッチング活動が自走するための仕組みづくりを進めます。



事業の効果

地域を越えた作業委託や福祉事業所の水産業への参入に係るマッチングが推進され、新たな水福連携による障がい者の働く場が拡大し、漁業現場における労働力を確保。

三重県の水福連携の主な事例



カキ天然採苗用コレクター作成作業



カキ養殖用ロープの釘抜き作業



養殖網の修繕・清掃作業



鮮魚の弁当惣菜用加工作業